

会 議 録

1 会議名

平成27年度 第8回高田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 儀明川及び周辺の整備について（公開）
- (2) （仮称）厚生産業会館の実施設計について（公開）

3 開催日時

平成27年11月16日（月）午後6時30分から午後8時34分まで

4 開催場所

高田地区公民館 第6研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：西山要耕（会長）、高野恒男（副会長）、野本韶一（副会長）
浦壁澄子、河村一美、北川 拓、栗田祥子、小嶋清介、柴田幸男
杉本敏宏、田中昭平、松矢孝一、宮崎 陽、山田 昇、吉田昌和
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 橋本センター長、榎島係長、小林主事
- ・ 都市整備部：宮崎参事
- ・ 都市整備課：長谷川副課長、渡邊係長
- ・ 企画政策課：大島副課長

8 発言の内容

【榎島係長】

- ・ 大塚委員、井上委員、小川委員、高野誠委員を除く15名の出席があり、上越市
地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出
席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条1項の規定により、議長は西山会長が務めることを報告

【西山会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：野本副会長、浦壁委員に依頼
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【橋本センター長】

資料により説明。

【西山会長】

質疑を求めるがなし。

続いて、報告事項（1）「儀明川及び周辺の整備について」都市整備課に説明を求める。

【都市整備部 宮崎参事】

資料No.1により説明

【西山会長】

質疑を求める。

【宮崎委員】

儀明川の美化の協議会みたいな団体で、川のゴミさらいの経験があるが、河川管理者がここになく、いろいろ不便であるため今年は行わないと聞いた。儀明川の河川管理はどこが行い事務所はどこにあるか。

【都市整備部 宮崎参事】

河川の管理は県の上越地域整備部治水課になる。川底の清掃は、青田川を守る会のような住民組織が実施していると思うが、詳細は承知していない。

【宮崎委員】

2年ぐらい続けたが、人力では難しく機械力を使いたいといろいろ県に聞いたが、ラチがあかずそのままにしたという経緯がある。

なぜ川底かというと、遡上してくるサケがすごい姿、形で、今年ほど死んでいるのを見たことがない。当市の景観の考え方からすれば、川底を平らにし、サケが上ってくるのを皆で楽しめるようにしたいというのがある。

もう一つは石垣の間に生える草の除草に、生態系の影響を考え遠慮して除草剤を使っている。景観を考えたら、石垣に害を及ぼさない草花の植栽とかを川縁の町内

の皆さんが話されている。景観という観点で、我々自身も考えて取り組んでいく必要があるというのが私の考えである。

【西山会長】

意見で良いか。

【宮崎委員】

よい。

【都市整備部 宮崎参事】

河川の流下断面がある程度確保されるうちは、川底の浚渫をする状況にはならないと思う。

皆さんから関心を持っていただくのは大事でありがたい。市でも現在、除草剤は使わない方向であり、県でも県道は年1回程度草刈りを実施し、後は地元の皆さんが実施している状況。行政では草取りまではできないので、皆さんからけがや事故のないよう協力いただければ有難い。

【西山会長】

他に質疑を求める。

【小嶋委員】

私の住む幸町には儀明川協議会というのがあり、除草などしている。

美化の計画が全くないという説明だが、観光といいながら計画がないというのは行政の怠慢だと思う。行政主導ではなく、地元と協議をする場をつくっていけばよいのではないか。三の辻に植わっている桜は感じがいいが、北本町へ行くとどぶ川のような感じである。仲町通りの裏がわにも狭い道があるので、そこの方々とも考えていけばよいのではないか。どの観光地も水がきれいである。その辺もまちづくりに入れて考えていくほうがよい。

【都市整備部 宮崎参事】

貴重な意見をいただいた。そういう意味では、住民の皆さんと話をすることは大事だと思うが、誰が担当するかということもある。

宮崎委員のサケが死ぬほど水が少ないとの話だが、降雨の関係か、夏場水が少なかったことが影響している。今後ダムができてどうなるかわからないが、自然河川の宿命である。

一級河川関川水系儀明川は、土山から流れる河川であり雨が降るとすぐに濁ることは承知のとおり。

せせらぎを活用している観光地は、生活用水として大切に利用してきた経緯から景観が守られてきた。高田でも、今蓋がかけられてしまった表寺町の稲荷中江用水は、農業用水とともに生活用水としても多分利用されてきた。地域の歴史、水への考えが異なっている中で、高田の河川をそういう形で見せるのは無理があると思う。

地域の皆さんとの話し合いは良いことだと思うが、歴史的な成り立ちもあり、持ち帰りたい。

【西山会長】

他に質疑を求める。

【柴田委員】

昨年の会合で、見返橋から先の堤防が造られていない部分を何とかしてくれと要望したが、その後の進展状況はどうか。

関連して、ダムのその後の見通しはいかがか。

【都市整備部 宮崎参事】

河川担当が同席していないので、分かる範囲で答えたい。

見返橋上流部分は承知していない。ダムは現在市道の切り替え道路を整備しており、これから次に入ると聞いている。順次整備を進めて行くことと思う。予算が県内の他のダムへ向けられているため、その後の順番待ちという現状。そういう意味で、柴田委員含め皆さんに要望活動をお願いしているので理解いただきたい。

先ほどの小嶋委員の話の桜について、桜は区画整理が終わってから植えたもので、街路樹としては非常にかわいそうな状況になっている。仲町側のほうは道路幅が車1台やっと通れる状況で非常に狭く、街路樹を良くするのは難しいと思う。

【西山会長】

他に質疑を求める。

【杉本委員】

高田駅で降りて儀明川へ来たとき、あれでいいかということで問題を提案した。

あの儀明川が、観光やまちの発展、景観などの施策の足を引っ張っていると感じ、都市計画やまちづくりの観点から儀明川について聞きたかった。

儀明川は昭和30年頃に改修され、真っ直ぐに石積みにしたことにより、木が生え、ハヤやホタル、オニヤンマなどたくさんいたものが皆失われてしまった。元には戻せないが、高田のまちにふさわしい川のあり方があるのではないかと考える。

治水や防災の観点ではなく、その観点で考え直す必要があるのではないかと考える。行政として高田のまちづくりと儀明川をどうするかという観点がないのは大問題で、重要課題として検討してもらいたい。

【都市整備部 宮崎参事】

結論からは、なかなか難しい。土木的には、まず治水ありきである。

儀明川は、青田川とともに高田城の堀として活用された歴史があると思う。個人的には、川の性質上せせらぎにはならない。高田にある川としてきちんと認識していくことが大切なのではないかと考える。

治水のほか、江戸時代に防火という点からも良く考えられた町に、ずっと住み続けられるという誇りが高田の皆さんにとっては大事と思う。

【企画政策課 大島副課長】

若干補足をする。第4次計画上越市観光基本計画には、高田公園と春日山城を2大観光拠点として位置づけ、観光振興はそこを拠点にして、その他の観光エリアに人を誘客するという計画になっている。その中で儀明川の位置付けはおそらくないが、観光振興課にも伝えながら、拠点を結ぶ時に通るであろう儀明川を考えていく必要があるだろうと思う。

【杉本委員】

この石積みは60年経っており、いずれは修理をしなければならない。今から活用を含め、長期計画を持つ必要があるのではないかと考える。

【都市整備部 宮崎参事】

ご意見として伺っておく。実情として、風情からは石積みは良いが、河川断面を確保しながらでは構造上無理がある。石積みの老朽化は現実的にありうる話で、意見を参考にする。

【西山会長】

他に意見がある場合は南部まちづくりセンターを通じてお願いしたい。

続いて、報告事項(2)「(仮称)厚生産業会館の実施設計について」都市整備

課に報告を求める。

【都市整備部 宮崎参事】

資料No.2により説明。

【西山会長】

質疑を求める。

【宮崎委員】

計画内容より、本町商店街や駅前周辺の人たちがどう思っているかという点で話をしたい。駅周辺の皆さんは3千いくつの署名を集め、駅前に多目的施設である厚生産業会館を作してほしいと運動し、われわれ協議会もその方向で検討すべきとしてきたが、市は高田公園内に建設すると決めた。

地方創生で市が作成した計画には、高田の中心商店街を、中心市街地の都市機能の強化と魅力の向上として、ビジネス拠点としての機能を強化するとともに多彩なイベントや城下町の町並みを楽しみながら回遊できるまちとしての魅力の向上を図るとなっている。

先日の本町5丁目振興組合の集まりの中では…

【西山会長】

申し訳ないが、本日は産業厚生会館の実施計画の設計についての説明であり、関連する質問をお願いしたい。

他に質疑を求める。

【浦壁委員】

敷地全体で202台の駐車場のうち障害者用が5台となっており、高齢者が増えている中で、あまりにも少ないのではないか。

【都市整備部 宮崎参事】

障害者用の駐車スペースは、健常者の方は使わないことが原則となっている。

今の段階では、各施設の比率にあわせ5台で考えているが、意見については戻り整理する。

【浦壁委員】

特別な施設やお金を要する問題ではない。皆が住みやすいまちのため、ぜひ多くのスペースを障害者用にすることをお願いしたい。

【都市整備部 宮崎参事】

障害者用スペースは、表示と車椅子を乗り降りできるスペースを確保し、健常者は使わないようになっている。利用がない場所は空きスペースになる。障害者用スペース以外の場所には身障者の方も利用でき、身障者用は5台としたが、再度検討したい。

【西山会長】

他に質疑を求める。

【吉田委員】

市民の体格も向上しており、上越文化会館の座席と比べて大きくなるか聞きたい。また、車椅子席4席は適正と考えているか聞きたい。

【都市整備部 宮崎参事】

椅子の大きさは、余裕を持たせることとしているが詳細は承知していない。文化会館は、冬場厚着しても楽に座れるよう当時としては広く作られていると聞いている。既製品から選定しているが、検討したい。

車椅子席は、ホール内の通路の両端、座席がないところに予定している。外から入ってきて平らなところに確保する。ロールバックで前列だけを収納すればさらに増やせると思うが、今のところこの程度でよいと考えている。

【野本副会長】

(仮称)厚生産業会館の具体的な計画を初めて見せて頂いた。平成29年9月に完成することを楽しみにしている。

この設計が、周辺を含めこの施設が本当に市民の暮らしに役立ち快適で過ごしやすい拠点となるために効果的なデザインなのかどうか懸念される。特に高田区地域協議会では、従前から道路と駐車場の関係について、大きな関心を持ち、混乱が起きないか懸念していた。

敷地への入口は陸上競技場側と図書館側があり、その2カ所をつなぐように周回する道路がある。また、複合的な施設が集中するが、それらの利用者を考慮した時に特段留意が必要な点は何か。駐車場と車の出入りに関し、この設計に基づく市の今の考えを聞きたい。

【都市整備部 宮崎参事】

資料No.2の3ページ、下段の外構・周辺計画をご覧ください。

高田郵便局から来て一つ目の信号から入る道路、幅員はすれ違いできる6メートルを確保し、陸上競技場がせり出して幅員が狭いところはお堀側に広げ確保したい。

撤去した旧勤労青少年ホーム跡を侵入し、野球場に沿って駐車場に入る形になる。通常時はここから出ていただく。既存の図書館側から沿路は、バックヤードとして利用するので、通行止めにして通り抜けできないようにする。通常、極楽橋を通過する車両が、ショートカットしてここを通り抜け、交通に混乱を来たすことを防止するためである。但し、敷地内が渋滞した時は、ここから出ていく車両のみの一方通行として利用することも現在考えている。

【野本副会長】

図書館と南堀との間の道路は道路敷として使わず、陸上競技場と産業厚生会館との間の道路をメイン道路とすることか。

【都市整備部 宮崎参事】

ご指摘の道は、資料No.2の3ページ下段平面図の会館の北にひかれた赤線の北側にある陸上競技場との間の砂利道のことであるが、忠霊塔前で車が通り抜けられないようにしている、それと同様に通行止めにする。

いざというときに抜ける道路は、建物北側から東側を通る通路のことである。

【松矢委員】

お花見の時、出店者の車が相当な台数になるが、それとの兼ね合いをどう考えているか。また、ソフトボール場を駐車場にする話を聞いているが、その関連についても教えて欲しい。

【都市整備部 宮崎参事】

前回説明したとおり、高田公園に広場があまりないので、ソフトボール場を広場にするのと合わせて駐車場の整備を検討することとした。

これから工事に入るにあたり、どこまで工事用地として使うかこれから協議する。花見の出店者がここに車を止めるのかについては、これから観光振興課と協議をする。

【松矢委員】

これから検討だというのだから、しょうがない。

【北川委員】

省エネ対策と、駐車場と建物屋根の雪対策について教えて欲しい。

【都市整備部 宮崎参事】

省エネについては、遮熱機能の高いガラスの使用とペアガラスにする。なるべく自然素材を使ったり、自然光が採光できるよう中庭をガラス張りにした。

雪対策は、基本的に耐雪型とし、雪は屋根に積もらせておくように考えている。

昭和59年からの3年豪雪以降は雪下ろしの経験がないため、2.5メートルの耐雪強度があれば大丈夫と考えている。また、雪下ろしが必要となった場合、機械を上げることを考慮すると高さがあることから、処理しやすい陸屋根にした。プレイルーム等の平屋部分についても機械を乗せて飛ばすしかないと考えている。

【北川委員】

駐車場についてはどうか。

【都市整備部 宮崎参事】

駐車場については、機械除雪を考えている。基本的には機械で除雪をして端に寄せることになる。桜の木に関連もあるが、南堀に出せるようなスペースが確保できればと思っている。

【北川委員】

冷暖房はどんな熱源か。

【都市整備部 宮崎参事】

幾つか検討した中で集中型のガス利用も考えたが、メンテナンス等を考え通常の電気式の冷暖房とし、共用部分と各部屋は個別対応とする予定である。

【杉本委員】

陸上競技場で中学生や高校生の大会があると、陸上競技場の西側や相撲場近くでマイクロバスの乗り降りをしている。今度、駐車場全体に区画がされると、バスから下りたり荷物を下したりする場所がなくなるのではないか。対策を考えているか。

また、ホールを使う人の荷物の搬出入のための、大きなトラックが出入りするルートと駐車場所について聞きたい。

【都市整備部 宮崎参事】

資料No.2の3ページには、陸上競技場への出入り口が競技場南西にしか書かれていないが北西にもあり、大きな車は人を降ろしたらスポーツセンターへ回る形になると思う。これは施設利用の話であり、いままでと同様、体育課と運営者側が協議しながら進めると思う。

ホールへの搬出入は、図書館の南側の通路から入り、建物東側から北側の通路をバックヤードの駐車場として確保するように考えている。

【杉本委員】

今でも陸上競技場の西側でのマイクロバスの乗降には、かなり余裕がなく、更に、先ほどの信号で渋滞する。高校や中学の大会では、まずテントを陸上競技場で建てる作業から始まるが、その間マイクロバスをそこに止めておかないと作業にならない。全体的として上手く回るか不安の声があり、早めに手を考えておかないといけないと思う。

【都市整備部 宮崎参事】

運営上の話だと思うが、懸念は体育課にも話しておく。

陸上競技場の北西側の道路が狭い。競技場側に幅員が確保できないので、別の方法を考えながら確保したいと考えている。

【西山会長】

高田区では、歩いて行かれる方が大勢いると思うが、冬の子どもセンター利用者の歩行スペースと、機械除雪に伴う、子どもと保護者が一緒に歩く場所、それと、今後、歩道を設置する予定があるか聞きたい。

【都市整備部 宮崎参事】

現在、郵便局から本町側は歩道融雪で消雪し、足りない時は機械除雪している。高田公園内の歩道も機械除雪している。先ほどの交差点から会館までの部分も歩道を考えており、除雪していきたいと思う。

【西山会長】

他に質疑を求めるがなし。

以上で報告（2）を終了する。

— 都市整備課 退席 —

続いて、西山会長より、自主的審議事項に関し提案を求める。

【西山会長】

私から一点提案したい。

新幹線開業後、観桜会やゴールデンウィーク、お盆等の時期は、高田駅前の観光案内所は常時開いているが、それ以外の時は閉鎖したままであり、高田駅前の観光案内所の常時活用と施設のサービスの内容の整備について提案したい。

これについて、前回の協議会でも高田駅前の活性化について意見が出されており、8月の委員研修においても、高田駅グランドデザイン研究会の皆さんと意見交換を実施した。懇談会でも高田駅前や本町商店街の活性化について多くの意見を寄せていただいた。これらを考え、こちらの案件を提案させていただきたい。

協議会は高野副会長が代わって進行し、西山会長は提案者として説明することで委員全員の了承を得る。

【高野副会長】

配布された西山委員の自主的審議事項に係る提案書をご覧いただきたい。説明を受けた後、これを自主的審議事項にするかどうかを決めたい。

西山委員に説明を求める。

【西山会長】

自主的審議に提案した事項は、高田駅前の観光案内所の常時活用と施設サービスの内容の整備について、配布した資料のとおり説明。

補足だが、私もこれで6年協議会委員をしているが、協議会の大切な仕事の一つに地域活動支援事業の採択がある。皆さんも4年目で3～4回採択されているが、この半分以上が高田区の皆さんが市民活動で高田区をPRし、観光や市民活動に一生懸命取り組まれ、毎年1千万円以上の市の予算も投入しながら高田の事を考えている。しかし、それを発信する一番の大元であろう高田駅前観光案内所が開店休業でポスターだけ貼ってある状態。さらに町内のまちづくり協議会が、えちごトキめき鉄道にポスターの掲示依頼をしても、有料という駅の現状。したがって駅から降りたときに、観光案内所はただポスターを貼ってあるだけでほとんど機能していない。ぜひ、この観光案内所およびサービス内容を皆さんでご検討いただき、どういう形でまちづくりや観光、PRに役立てて行けるか協議し、必要な場合、常設やサ

ービス内容について提言をしたいと思っている。

【高野副会長】

西山委員から自主的審議事項にかかる提案書の説明があり、また熱い思いもあった。西山委員の説明について、質問を求める。

【松矢委員】

この観光案内所の設置者は、市か、それともどこかの団体か。

【西山会長】

コンベンション協会である。

【松矢委員】

そうすると市に対して提言を出すのか、どう考えているか。

【西山会長】

市の観光課とコンベンション協会が関係しているため、まず市に改善をお願いしたい。

【松矢委員】

実質的に市ではなく、コンベンション協会に委託しているような形なのか。

【西山会長】

扱いはコンベンション協会の扱いになる。

【松矢委員】

その辺がわからなかった。

【高野副会長】

他に質疑を求める。

【北川委員】

新幹線開業前は開いていたか。

【西山会長】

開いていた。

【野本副会長】

ずっと開いていた。常設である。

【北川委員】

その場所は今もあるのか。

【西山会長】

場所的には派出所の隣。

【北川委員】

今は何も使われていないのか。

【西山会長】

ポスターが貼ってあるのみである。

【高野副会長】

他に質疑を求める。

【浦壁委員】

提案趣旨はよいが、コンベンション協会はあまり取り合ってくれない。直接的な窓口をもう少し考え効果的な方法をしっかり考えて欲しい。

【高野副会長】

あの建物は市の建物であり、コンベンション協会には市の職員が出向しており、実質は市の出先だと私は考えている。この件を取り上げることになれば、市の担当課から説明を聞くという方法もあるのではないかと。

【西山会長】

今年、研修などで、お土産屋がないから本町にお土産屋を作ればいいのかという話もした。今後、駅前の観光案内所も含めて、いろんな意味を話し合えればと思い提案した。

【吉田委員】

私は新発田と村上へ散策に行った。行けば、真っ先に観光案内所に行く。上越市が観光に取り組む以上、新幹線の駅だけではどうか。

新発田と村上の観光案内所へ電話を掛けたら、翌日資料が全部届き、丁寧にコメントが書いてあり感動した。拠点の駅には観光案内所は必要だと思う。駅を降りて散策しようとしても聞くとところがないというのは一番の問題である。ぜひ討議して市街地の活性に繋がればいいのかと思う。

【野本副会長】

案内所は高田駅正面に向かって右側の良い場所にある。入口の貼り紙には、市観光振興課名で「閉鎖した」という表示がしてある。コンベンション協会ではなく、

市役所が主体のとなっている。

【北川委員】

高田駅を降りた観光客のクレームは現在どれぐらいあるか。

【西山会長】

パーセンテージまでは聞いてない。

新幹線が開通してから、飯山や長野の年配者を中心に寺町に来られ、「来て、何処に行けばよいのか。観光案内所はあったが開いてない。」「ただポスターが貼ってあるだけ。」「3回来ているが、いつも開いてない。」と言われる。パンフレットも見られない。来てくれる人がいるのに、観光案内所が開いてないというのは問題。

【宮崎委員】

なぜ市が高田駅前案内所を閉鎖したかという、先ほどの話と関連する。市がビジネス拠点とする形を正式に謳ったので、本町商店街という位置付けではなくなった。本町3, 4, 5の振興組合のトップの皆さんはそれをどのようにとったのかというのがある。

振興組合の理事会のときに市の担当が来て、SAKE祭りの結果報告の中で「ビジネス拠点としたことで商店街の活性化という形では補助金は出せない状況になっている。物販で空き店舗に対する助成金は、これからは一切できなくなった。だから、どんな業種なら入ってもいいかを検討し答えてくれ」ということだった。

どこへもの申すのかは、野本副会長の発言のように市である。市の計画では、駅前の位置付けが今までとは違うという認識をしなければならない。例えば世界館を中心とした雁木と町屋を復元し、街区を連たんさせて観光ですよとしないかぎり、高田の駅前だけでは駄目だと思う。提出するのはいいが、肉付けが必要。

【高野副会長】

これについて、今これから議論をしていくかを皆さんに諮りたいと思う。

他に質疑を求める。

【浦壁委員】

観光案内所はどこでも駅周辺にあり、絶対に必要である。良い提案で大事だと思う。商業を抜きに観光として、市の観光振興課に提案するのが確実だと思う。

【高野副会長】

それは、これから議論していきたいと思う。

西山委員の提案について、これから議論していくことに賛成の委員に挙手を求め、出席委員全員の賛成により、今後議論していくことに決定する。

進行を西山会長に交代する。

【西山会長】

次回、担当課の観光振興課から現状等の説明を受けることについて、委員全員の了承を得る。

続いて、事務局に事務連絡を求める。

【橋本センター長】

- ・第9回地域協議会：12月21日（月）午後6時30分～ 高田地区公民館 第6研修室
- ・第10回地域協議会：1月18日（月）午後6時30分～ 高田地区公民館 第6研修室
- ・地域協議会だより1月15日号（第24号）を発行

【西山会長】

事務局の説明に対して、質疑を求める。

【吉田委員】

西山委員の提案と協議日程に関し、私たちの任期が3月で終わるので、市の説明が12月21日で間に合うか、もし間に合わないなら、臨時開催を検討してはどうか。

【西山会長】

先ず12月21日説明を聞いてからということで委員全員の了承を得る。

他に質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL: 025-522-8831 (直通)

E-mail: nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。